11/14・15 PROGRAM

アートガイドツアー＆コミュニティダイアログ



11月14日(土)・15日(日)
14:00〜16:00

各回定員14名
事前申込制

- 定員：各回14名
- 集合：14:00 鍬と本
- 料金：1,000円（お茶菓子付）
- 申込方法：Peatixにて申込

※詳細はWebまたはPeatixをご確認ください

展示会場をめぐるアートガイドツアーのあと、アーティストや参加者とともに、アートや島、日本と台湾の交流について語り合います。(通訳有)

男木島めぐり＆作品鑑賞



11月14日(土)・15日(日)
11:00〜16:00

- 会場：鍬と本／男木島図書館
- 料金：無料・申込不要

鍬と本、男木島図書館に展示されている作品を、島をめぐりながら思い思いにご鑑賞いただけます。

SOUND MAP
台湾の6人のアーティストの声を、QRコードから聴けるサウンドマップ（男木島図書館・鍬と本）。耳を澄ますと、海の向こうの記憶が島の景色に重なります。

VENUE


男木島の魂
入口・受付


男木島図書館
作品展示



鍬と本
作品展示／パフォーマンス／
コミュニティダイアログ


高松市男木
コミュニティセンター
11/13 レセプション ※要申込

ACCESS

高松港から雌雄島海運のフェリー「めおん」で約40分（女木島経由）。島内は徒歩が中心です。最新の時刻表は雌雄島海運の公式サイトでご確認ください。

INFO

特別プログラム、ガイドツアー＆コミュニティダイアログは事前申込制・定員あり。
お問い合わせ：離島観光協会
ritou.kanko.events@gmail.com

詳細 | WEB　チケット | PEATIX

Cross-Cultural Room Exchange in Ogijima

S2
OGIJIMA
TAIPEI

台北と瀬戸内
記憶と対話の帰国展



2026.11.13 Fri — 15 Sun
11:00 — 16:00
男木島の魂／高松市男木コミュニティセンター／
男木島図書館／鍬と本
※会場や内容は変更になる場合があります

主催 | Organized by 離島観光協会
共催 | Co-organized by Setouchi Art Collective DTA
協力 | In cooperation with PINEAPPLE HOUSE 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター
後援 | Supported by かがわ文化芸術祭2026参加行事 公益財団法人置県百年記念 香川県文化芸術振興財団 台北市文化局 TAIPEI
助成 | Supported by a grant from 國藝會 NCAF

海を隔てた、二つの場所から。
台湾と瀬戸内を結び、作品や記録、互いの視点を交わしながら、創作と対話を続けるプロジェクト。2026年1月に台北で開かれた展示が、そこで生まれた作品や視点とともに、男木島へ。ふたたび、物語の続きが始まります。

ARTISTS



高松 明日香
TAKAMATSU Asuka

尾道市立大学大学院修了。映画や舞台のワンシーン、日常の風景を切り取った淡い色彩のアクリル画を制作。架空の世界に潜む本物の感情とゆらめきを探求している。

黃筱雯
HUANG Hsiao-Wen

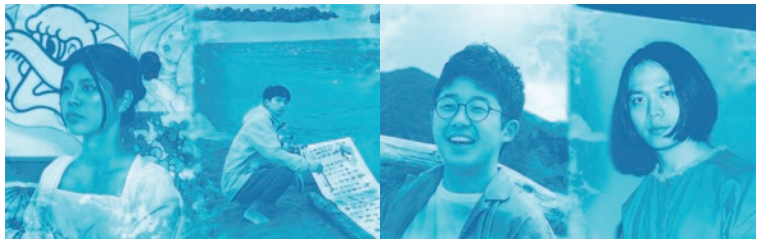
台南生まれ。実践大学服飾デザイン学科を卒業後、2018年には自身のブランド「ONWOVEN」を設立。素材を記号に変換しながら、そこに潜む幻想や観念を自由な視点から表現することを試みている。

安宅 レオウ
ATAKU Reou

香川を拠点に活動。アナログ絵画とデジタル表現を横断し、生命の律動や人間の欲望など相反する視点を探求。絵本制作やユニットのプロデュース、海外作家との共作など多角的に活動。

廖堉安
LIAO Yu-An

台北市生まれ。国立台南芸術大学大学院修了。自身のイメージや心理状態を題材に、絵画を通じて都市の人々のライフスタイルや人間関係を繊細に描き出している。



ぐしけん しおり
GUSHIKEN Shiori

沖縄県生まれ、東北芸術工科大学修了。社会が求める姿と自身の望みとの葛藤から、神話や童話を再解釈し少女を描く。他者の視線から解放された「自分らしさ」の可能性を探求している。

高安柏
KAO An-Bo

台北市生まれ。国立台北芸術大学修士課程修了。水墨を創作の核とし、登山での踏査や自然の土や墨を採集するフィールドワークを通じ、山岳の霊性と自然との共創を探求している。

木村 翔太
KIMURA Shota

広島市生まれ。広島市立大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻（彫刻研究）修了。遠輪の静寂さと普遍性で自他の記憶を結ぶ表現を探求している。

吳柏賢
WU Bo-Sian

台北市立大学修士課程修了。油彩や絵画インスタレーションを中心に制作する。身体の記憶や意識状態、光源、空間の疎外感に着目し、不安と強烈な明暗の衝突を孕む作品を展開。

CURATOR



片倉 恒
KATAKURA Hisashi

京都芸術大学卒業後、2020年に瀬戸内アートコレクティブ設立。社会性と事業性を両立した支援基盤を構築。「香川国際アートアワード」など、現代美術を軸に地域文化の発信と持続可能な価値創出を推進。



辻 孝文
TSUJI Takafumi

岡山県を拠点に国内外で活動。AI生成の架空の顔に手描きで介入する《Ø→U》シリーズを展開。「誰でもない顔」を「誰か」と認識する無意識に着目し、肖像画の新たなあり方を探求している。

鄭育
CHENG Yu

元智大学卒業。政治と映像のインターフェースに着目し、ユーモアを交えたパフォーマンスで公共空間に介入して台湾の社会課題に応答する。領域横断的な活動を展開している。

中桐 聡美
NAKAGIRI Satomi

岡山県生まれ。京都市立芸術大学大学院 美術研究科美術専攻修士課程修了。シルクスクリーンとカッターのドローイングを用いた独自の技法で作品を制作している。

陳奎延
CHEN Kuei-Yen

台湾・宜蘭生まれ。国立台南芸術大学大学院修了。孤独や疎外感に着目し、厚塗りの絵画や彫刻を制作。内なる不安や自省を寓話的な人物や自然風景へと転化させる表現を探求している。

ARTIST&CURATOR



有田 大貴
ARITA Taiki

2011年米国ジャクソンビル大学卒業。G7広島サミット関連企画や平和交流事業に加え、ライブペイントなど自己と環境に根差した多様な活動を展開している。

PORTRATOR

徳島生まれ、高松拠点。身近な人の表情に着想を得て、現代の「肖像」を解体し、実存する人物から漂う空虚さを画面に定着させる。鑑賞者の内なる「空っぽ」の感覚との共鳴を試みる。

山本 晶大
YAMAMOTO Akihiro

高知県生まれ。ベルリンでの活動を経て岡山県で制作。古い建物や失われた風景を題材に、幅広い手法を用いる。地域の記憶を調査し、そこに潜む喪失や変化を捉え直すことを試みている。

黃海鳴
HUANG Hai-Ming

フランス国立パリ第8大学 美学・芸術の科学とテクノロジー博士。台北市立美術館館長、国立台北教育大学 文化創意産業経営学科教授を歴任。台湾現代アートのキュレーションや美術評論の分野で活躍。



JAMES Shih

実践大学 メディア伝達デザイン学科卒業。台湾の現代アート、領域横断型のプロジェクトで活躍。第24回台新芸術賞にノミネートされた多国籍プロジェクト「雙重國籍的房間（二重国籍の部屋）」などがある。

SPECIAL PROGRAM

男木島をめぐり、アートを鑑賞・対話する特別な1日。

11月13日(金) 11:00〜15:30

- 定員：15名
- 集合：10:50 男木島の魂
- 料金：3,500円（ランチ・お茶菓子付）
- 申込方法：Peatixにて事前申込

※フェリー代は含みません
※詳細はWebまたはPeatixをご確認ください

お申込はこちら

日本と台湾のアーティストによる作品やパフォーマンス、国際コミュニティダイアログなどを通じて、アートを介した交流を体験できる、1日限定のプログラム。







11.13 SCHEDULE

10:50	集合・受付（男木島の魂）
11:00	オープニングレセプション
12:00	パフォーマンス（鍬と本）
12:30	ランチ
13:30	アートガイドツアー
14:30	国際コミュニティダイアログ
15:30	終了・自由解散

事前申込不要

ダンスパフォーマンス「カタタチサト×岩本象一」

11月13日(金) 12:00〜12:20
・会場：鍬と本



カタタチサト　撮影：西川博喜
於：長谷川隆子個展 - 刻の方舟 - パフォーマンス公演「舟旅」

舞踏とモダンダンスをベースに、ダンサーとして20年のキャリアを持つカタタチサトと、インドネシアの伝統音楽「ガムラン」の奏者でもある岩本象一による、一日限りの特別なダンスパフォーマンス。